

植物との関わり

江陽中学校 三年 相坂 一歌

私たち人間にとって、植物とは何なのか、考えたことはありませんか。もちろん光合成をして、酸素をつくり出してくれる植物は、人間だけではなく、全ての生物にとっても重要なものです。しかし、植物の役割は、それだけではないのです。

私の祖父母の家には、家庭菜園のための小さな畑があります。トマト、ピーマン、じゃがいも、かぼちゃ、ねぎ、ヘチマ。姿形が違う植物をたくさん育てています。幼い頃の私は、その種類の多さに、いつもワクワクしていました。

祖父の畑仕事を手伝うこともありましたが、土を盛り上げて畝を作ったり、育った野菜の収穫をしたり。その作業は、一概に楽しいとは言えない、大変なものでした。それでも、自分の手で植物を育てることは、達成感に満ち溢れていました。

作業はこれで終わりではありません。収穫した野菜を水で洗い、台所へ運びます。野菜がたくさん入ったかごは、幼い私にとって決して軽いものではありませんでした。しか

し、それよりも、母や祖母が「たくさん収穫したね。」「すぐくおいしそう。」と言ってくれることがうれしく、かごの重さなどはほとんど気になりませんでした。育てた野菜を見て喜んでもらえる。この瞬間が、私にとって一番の楽しみでした。

何度も喜んだ顔を見たかった私は、とれたての野菜を持って、近所にある親戚の家へよく走っていました。「いつもありがとう。」。親戚はそう言って喜んでくれるのです。思い返すと、その親戚と話すようになったのは、その頃からでした。私は人と接することが苦手でしたが、このときだけは、緊張せずに会話ができました。私は野菜を通じて会話をしていたのです。野菜のおかげで、交流の輪が広がったのです。

人々は昔から、植物との関わりを大切にしてきました。記念日に花を贈ったり、家族で果物狩りを楽しんだり。このように、植物との関わり方は様々ですが、これらには、共通点があるのです。それは、人との関わりが生まれるということです。植物と関わりをもとうとすると、必ずどこかで、人と接します。それは、花屋の店員かもしれませぬし、散歩中のおじいさんかもしれませぬ。つまり、植

物との関わりは、人との関わりなのです。私たち人間にとって、植物とは、人と人をつないでくれるものなのです。

しかしながら、現在、地球上の森林の減少が深刻化しています。人間は、植物との関わり方を忘れてしまったのでしょうか。いずれは、人との関わり方すら忘れてしまうのでしょうか。地球を守るために、そして、あなたと関わる全ての人を守るために、植物を守っていく必要があると私は思います。